



Cisco Telemetry Broker

リリースノート 1.3.1



目次

はじめに	3
Cisco Telemetry Broker 展開のアップグレード	3
更新ファイルのダウンロード	3
更新ファイルのアップロード	3
新機能	4
バージョン 1.1.2	4
バージョン 1.2.2	4
バージョン 1.3.1	5
修正点	7
バージョン 1.0.2	7
バージョン 1.0.3	7
バージョン 1.1.2	7
バージョン 1.1.3	7
バージョン 1.2.2	8
バージョン 1.3.1	8
サポートに連絡	9
変更履歴	10
リリースサポート情報	11

はじめに

Cisco Telemetry Broker v1.3.1 は、新機能とバグ修正の両方を含む機能リリースです。

Cisco Telemetry Broker 展開のアップグレード

Cisco Telemetry Broker マネージャの Web インターフェイスの [ソフトウェアアップデート (Software Update)] ページには、マネージャノードとブローカーノードの現在の Cisco Telemetry Broker バージョンが表示され、最新のリリースバージョンにアップグレードできます。

この更新により、マネージャとすべての管理対象ブローカーノードが最新バージョンにアップグレードされます。更新を実行する前に、Cisco Telemetry Broker VM の VM スナップショットを作成することをお勧めします。このスナップショットを使用して、予期しないエラーが発生した場合に現在の状態に戻すことができます。

更新中にシステムが応答しなくなり、最初にマネージャが更新され、次にブローカーノードが更新されます。マネージャの更新中は、Cisco Telemetry Broker の展開の状態が正しく表示されない場合があります。ブローカーノードの更新中は、送信されたトラフィックを宛先に正しく渡すことができません。³


更新ファイルのダウンロード

1. [Cisco Software Central](#) に移動します。
2. [ダウンロードとアップグレード (Download and Upgrade)] セクションで、[ダウンロードにアクセス (Access Download)] を選択します。
3. 検索フィールドに「Cisco Telemetry Broker」と入力します。
4. [マネージャノード ソフトウェア (Manager Node Software)] を選択します。
5. CTB 更新バンドルファイル `ctb-update-bundle-v1.3.1-0-g778d865.tar` をダウンロードします。



v1.3.1 バンドルファイルは、Cisco Telemetry Broker v1.2.2 以降にインストールできます。

更新ファイルのアップロード

1. Cisco Telemetry Broker マネージャで、 (設定) アイコンをクリックします。
[アプリケーション設定 (Application Settings)] ページが開きます。
2. [ソフトウェアの更新 (Software Update)] タブをクリックします。
3. ページの右上隅にある [更新ファイルのアップロード (Upload an Update File)] をクリックします。
4. ダウンロードしたファイルを選択します。
表示される推定時間に基づき、アップロードが完了するまで数分かかる場合があります。ファイルがアップロードされると、ソフトウェアアップデートが利用可能になったことを通知するメッセージが表示されます。
5. [Cisco Telemetry Broker の更新 (Update Cisco Telemetry Broker)] をクリックします。
マネージャノードが最新バージョンに更新されている間は、Cisco Telemetry Broker 内を移動できません。更新プロセスには約 10 分かかります。
6. 更新が完了すると、再度 Cisco Telemetry Broker にログインするように求められます。
更新中の各ブローカーノードの横にロードインジケータが表示されます。

新機能

バージョン 1.1.2

- **Azure NSG フローログから IPFIX への変換** Azure NSG フローログを IPFIX に変換し、この情報を Cisco Telemetry Broker に送信できます。
- **KVM の展開** Cisco Telemetry Broker イメージは、KVM ハイパーバイザに展開するための qcow2 イメージファイルとして配布されます。
- **スマートライセンス機能** オンプレミスの Smart Software Manager を使用して、スマートライセンス登録の更新、承認の更新、強制再登録、およびトランスポートゲートウェイ接続のサポートが追加されました。

i Cisco Telemetry Broker には Smart Software Manager バージョン 8-202010 以降が必要です。

- **Syslog 通知** Cisco Telemetry Broker では、システム内で発生しているアラートに関する通知がお客様の syslog サーバーに送信されます。以前は、ノードがパケットをドロップする、データを送信しない、宛先が到達不能であるなどを示すアラートがサポートされていました。
- **テレメトリの分類** 着信 UDP テレメトリを Cisco Telemetry Broker 内で事前定義されたタイプ (NetFlow V9、IPFIX、Syslog など) に基づいて分類し、ユーザーインターフェイス (UI) に分類を表示できます。

バージョン 1.2.2

i v1.1.x 以前から v1.2.2 にアップグレードする場合、データの移行が必要になるため、プロセスには最大 1 時間かかる場合があります。正確な時間は、マネージャのディスク速度とデータベースのサイズによって異なります。この間、マネージャ UI が応答しない場合があります。

- **概要ページ** Cisco Telemetry Broker に新しいホームページが追加され、システムの状態とシステムを通じて送信されるテレメトリの概要が表示されます。
- **電子メール通知** 次のアラートのいずれかが生成されたときに、電子メール通知を送信するように Cisco Telemetry Broker に指示できます。
 - ブローカーノードデータなし (Broker Node No Data)
 - ブローカーノードのパケットドロップ (Broker Node Dropping Packets)
 - 宛先到達不能
 - アプライアンスのディスクが満杯

i 現在、カスタムアラートタイプは設定できません。

- **SCA 宛先** Secure Cloud Analytics (SCA) 宛先を追加できます。

- Cisco Telemetry Broker では、システムごとに 1 つの SCA 宛先のみを追加できます。
- Cisco Telemetry Broker は IPFIX パケットのみを Secure Cloud Analytics に送信します。
- Cisco Telemetry Broker デプロイメントにトラフィックが少ない場合、SCA 宛先を追加した後、データが [宛先 (Destinations)] ページに表示されるまでに最大 20 分かかることがあります。
- **宛先ルール** SCA 宛先のルールを追加するときに、IPv6 サブネットを追加することはできません。
- **ブローカーノードの展開** Transformation Capable パフォーマンスプロファイルを使用してブローカーノードを展開し、テレメトリ変換を実現できます (たとえば、IPFIX データを Secure Cloud Analytics に送信します)。
 - これには 8 個の CPU と 12G のメモリが必要です。詳細については、『[Cisco Telemetry Broker Virtual Appliance Deployment and Configuration Guide](#)』の「Virtual Machine Requirements」セクションを参照してください。
 - Cisco Telemetry Broker ノードのディスクサイズが 40G から 70G に増加しました。したがって、SCA にデータを送信する場合は、v1.2.2 にアップグレードした後に VM をアップグレードして、追加の 30G のディスク容量を確保してください。手順については、『[Cisco Telemetry Broker User Guide](#)』の「Expand Cisco Telemetry Broker Manager Disk Size」セクションの手順 3 を参照してください。

バージョン 1.3.1

- **入力の概念** v1.3.1 では入力の概念が導入されました。v1.2.x 以前では、エクスポート/送信元は、ルールで指定されたポートにデータを送信します。Cisco Telemetry Broker は、その後、すべてのエクスポートのメトリックを追跡します。

v1.3.x では、Cisco Telemetry Broker によって入力の概念が導入されます。入力のタイプは、UDP、VPC (AWS フローログ)、NSG (Azure フローログ) の 3 つです。UDP 入力、ポート番号と名前で構成されます。各入力は、複数のエクスポートからテレメトリを受け取ります。エクスポートの追跡を無効にすると、入力レベルでメトリックを追跡できます。これにより、エクスポート (IP アドレスなど) は追跡されなくなります。エクスポートごとのメトリックを追跡するには、エクスポートの追跡を有効にする必要があります。

詳細については、Cisco Telemetry Broker のユーザーガイドにある「入力」の章を参照してください。
- **最大 100,000 のエクスポートのサポート** Cisco Telemetry Broker ブローカーノードごとに最大 100,000 のエクスポートがサポートされます (エクスポートの追跡を有効にしていない場合)。エクスポートの追跡を有効にすると、Cisco Telemetry Broker は引き続き最大 1000 の輸出業者をサポートします。
- **接続先のない入力** 新しく作成された入力は、ルールによって接続先に関連付けられなくても、データの受信を開始できます。これにより、データが接続先に転送される前に設定をデバッグすることが可能になります。
- **ノードごとの独立ルール** 特定のノードまたはクラスタに入力を割り当てることができます。これにより、ノードまたはクラスタごとに異なるルールを作成することができます。

-
- **UDP 入力でのポート番号の再利用** 入力と同じノードまたはクラスタに割り当てられていないかぎり、複数の入力に同じポート番号を指定することができます。
 - **SCA 接続先** Cisco Telemetry Broker は、NetFlowV9 データおよび NetFlowV5 データを変換して Secure Cloud Analytics に送信します。v1.2.x では、IPFIX データのみが Secure Cloud Analytics に送信されます。

修正点

このセクションでは、Cisco Telemetry Broker で行われた修正の概要を説明します。

バージョン 1.0.2

CDETS ID	説明
関連付けられた ID なし	メトリックのデータ保持ジョブがすべてのデータをクリーンアップしないため、マネージャのディスクがいっぱいになる問題を修正しました。
関連付けられた ID なし	信頼できないファイルが処理されないようにするため、Cisco Telemetry Broker アップグレードプロセスに特別な検証が追加されました。
関連付けられた ID なし	デバッグに役立つ診断レポートが Cisco Telemetry Broker メーデーパッチに追加されました。
関連付けられた ID なし	パッチが適用されたサードパーティライブラリがセキュリティ修正に導入されました。

バージョン 1.0.3

CDETS ID	説明
CSCvy44789	v5 AWS VPC フローログフィールドで Cisco Telemetry Broker が失敗する問題を修正しました。Cisco Telemetry Broker がサポートされていないフィールドを無視するようになり、失敗しなくなりました。

バージョン 1.1.2

このリリースの修正はありません。

バージョン 1.1.3

CDETS ID	説明
CSCvz01135	一度に大量のログを書き込むと Cisco Telemetry Broker によってディスクがいっぱいになることがあるという、まれな問題を修正しました。必要に応じて、ディスクのログが循環停止されるようになりました。
CSCvz46626	選択した時間範囲が 4 時間を超えていると、Cisco Telemetry Broker でグラフのデータレートが正しく表示されない問題を修正しました。
関連付けられた ID なし	Azure フローログが存在する場合に、Cisco Telemetry Broker の構成のバックアップが失敗する問題を修正しました。

CDETS ID	説明
関連付けられた ID なし	[S3バケットパス (S3 Bucket Path)] フィールドに大文字を入力すると、Cisco Telemetry Broker で VPC フローログを作成できない問題を修正しました。
関連付けられた ID なし	Azure フローログの送信元が正常な場合でも、Cisco Telemetry Broker で誤って「初出 (Never Seen)」ステータスが表示される問題を修正しました。

バージョン 1.2.2

CDETS ID	説明
CSCwa10327	マネージャの TLS 証明書を、3 証明書を超える CA 階層を含む PEM チェーン証明書に置き換えると、ノードとの接続が切断される問題を修正しました。Cisco Telemetry Broker は 3 証明書を超える Cisco Telemetry Broker 階層で動作するようになりました。
CSCvz89441	ブローカのインストール中に Cisco UDPD xml 設定をインポートすると失敗し、サーバーが 415 Unsupported Media Type エラー応答コードを受け取る問題を修正しました。

バージョン 1.3.1

このリリースの修正はありません。

サポートに連絡

テクニカルサポートが必要な場合は、次のいずれかを実行してください。

- 最寄りの Cisco Telemetry Broker パートナーにご連絡ください。
- Cisco Telemetry Broker サポートにご連絡ください。
- Web でケースを開く場合：<http://www.cisco.com/c/en/us/support/index.html>
- 電子メールでケースを開く場合：tac@cisco.com
- 電話でサポートを受ける場合：800-553-2447(米国)
- ワールドワイド サポート番号：
<https://www.cisco.com/c/en/us/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html>

変更履歴

マニュアルのバージョン	公開日	説明
1_2	2022年6月22日	最初のバージョン。
1_3	2023年3月6日	「変更履歴」ページと「リリースサポート情報」ページを追加。

リリースサポート情報

リリース 1.3.1 の公式一般公開(GA)日は 2022 年 6 月 22 日です。

一般的なソフトウェアのメンテナンスサポート、パッチ、一般的なメンテナンスリリースに関するサポートタイムライン情報、もしくは Cisco Telemetry Broker リリース サポート ライフサイクルに関するその他の情報については、『[Cisco Telemetry Broker Software Lifecycle Support Statement](#)』を参照してください。

著作権情報

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧については、URL: <https://www.cisco.com/go/trademarks> をご覧ください。記載されている第三者機関の商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1721R)